

原子力安全顧問の追加委嘱について

原子力災害対策等について技術的観点から幅広く指導、助言等を得ることを目的に鳥取県原子力安全顧問を設置していますが、原子炉工学の分野について体制の強化を図るため、次のとおり顧問を追加委嘱しました。

また、顧問の中立公正性及び透明性を適切に確保するため、顧問の要件等を定め、委嘱を行う際には自己申告調査を行うこととしており、委嘱に当たり自己申告調査を行った結果は別紙のとおりです。

1 追加委嘱する者

大阪大学大学院工学研究科・教授 片岡 勲（かたおか いさお）氏

【略 歴】

- 1975年 京都大学原子エネルギー研究所・助手
- 1992年 京都大学原子エネルギー研究所・講師
- 1994年 京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻・助教授
- 1997年 大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻・教授

【専 門】

伝熱工学、流体工学、混相流工学

2 任期

平成27年1月13日（委嘱日）～平成28年10月16日

<原子力安全顧問一覧（10名）>

（平成27年1月13日、分野内は五十音順）

分 野	専門分野	顧 問 名	所 属 ・ 役 職	備 考
環境 モニタリング	放射線計測・防護	うらべ いづま 占部 逸正	福山大学・教授	
	環境放射能	えんどう さとる 遠藤 暁	広島大学・教授	
	放射能環境変動	ふじかわ ようこ 藤川 陽子	京都大学原子炉実験所・准教授	
放射線 影響評価	放射線治療・放射線物理	うちだ のぶえ 内田 伸恵	鳥取県立中央病院・室長	
	線量評価（内部被ばく）	かい みちあき 甲斐 倫明	大分県立看護科学大学・教授	
	緊急被ばく医療	かみや けんじ 神谷 研二	広島大学・緊急被ばく医療推進センター長	
原子炉工学	原子力工学	あおやま たかふみ 青山 卓史	日本原子力研究開発機構・研究主席	
	原子力工学	かたおか いさお 片岡 勲	大阪大学・教授	今回追加委嘱
地震関係	地震活動・震源メカニズム	にしだ りょうへい 西田 良平	鳥取大学名誉教授	
汚染水対策	水工学	ひのまだに おさむ 檜谷 治	鳥取大学・教授	

任期 平成26年10月17日～平成28年10月16日（片岡顧問を除く）
平成27年 1月13日～平成28年10月16日（片岡顧問）

（別紙）自己申告内容

鳥取県原子力安全顧問委嘱に係る自己申告内容

平成27年1月13日
原子力安全対策課

委嘱日		H27.1.13	
氏名	片岡 勲		
欠格要件	①委嘱日前直近3年間に、原子力事業者等又は法人である原子力事業者等の役員若しくは使用人その他従業員であったか	非該当	
	②委嘱日前直近3年間に、原子力事業者等の団体の役員、若しくは使用人その他従業員であったか	非該当	
	③委嘱日前直近3年間に、同一の原子力事業者等から、個人として年間50万円以上の報酬等を受領していた者であったか	非該当	
情報公開事項	④委嘱日前直近3年間に、委員の研究及び所属する研究室等に対する原子力事業者等からの寄附について、対象の研究名称、寄附者及び寄付金額	該当 (原子炉燃料集合体の限界熱流束の一般的予測手法の開発に関する研究、関西原子力懇談会、平成23年度に50万円)	
	⑤委嘱日前直近3年間に所属する研究室等を卒業した学生が就職した原子力事業者等の名称及び就職者数	非該当	

原子力事業者等： 営利を目的として、原子力に係る製錬、加工、貯蔵、再処理若しくは廃棄の事業を行う者、原子炉を設置する者、外国原子力船を本邦の水域に立ち入らせらるる者、核原料物質若しくは核燃料物質の使用を行う者又は原子炉の建設工事を請け負う者をいう